

安城市内景況調査結果 (平成30年10月～12月)

＜一部業種を除き持ち直しの動きが見受けられる＞

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 103企業
 2. 調査対象時期 平成30年10～12月期
 (1)前年同期(平成29年10～12月)と比べた今期の状況
 (2)今期と比べた来期(平成31年1～3月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	20	18	26	26	13	103
構成比	19.4%	17.5%	25.2%	25.2%	12.7%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、7.7ポイントとなった。業況判断の前回実績(△0.1)と比較すると7.8ポイントの上昇であった。売上高については一部業種に足踏みが見られるものの、持ち直しの動きを示している。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△0.1	7.7	△0.9
売上高	5.9	9.6	2.8
売上単価	4.9	△4.8	△6.7
資金繰り	△0.9	△1.9	△2.9
借入難度	0	0	△3.0
収益状況	△7.8	△3.0	△4.8
雇用人員	△47.0	△17.5	△15.6

凡例▶ 30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業											
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業		その他			
前年同期対比	業況判断	7.7		10.0		38.9		0		△7.7		15.4	
	売上高	9.6		5.0		27.8		7.8		△1.0		15.4	
	売上単価	△4.8		△20.0		16.7		△7.7		0		△15.4	
	資金繰り	△1.9		0		22.2		△11.6		△15.4		7.7	
	借入難度	0		0		11.1		△3.8		△11.5		15.4	
	収益状況	△3.0		△15.0		11.1		△15.5		△27.0		15.4	
	雇用人員	△17.5		△15.0		△50.0		0		△11.6		△15.4	
来期の見通し	業況判断	△0.9		△10.0		16.6		7.7		△30.7		30.8	
	売上高	2.8		0		11.1		7.7		△26.9		46.2	
	売上単価	△6.7		△5.0		0		△3.9		△27.0		15.4	
	資金繰り	△2.9		0		△5.5		3.8		△23.1		7.7	
	借入難度	△3.0		△5.0		0		△3.8		△7.7		7.7	
	収益状況	△4.8		△10.0		0		0		△15.4		30.8	
	雇用人員	△15.6		△15.0		△38.8		△2.1		△15.4		△7.7	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。